
そばにいるのに

アンゴル・モア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

そばにいるのに

【Zコード】

Z0442BA

【作者名】

アンゴル・モア

【あらすじ】

灰原哀はクラスメートの『江戸川コナン』

に恋心を抱いている

けれど、それは、

けして『叶わない』恋！？

腹の#扣つみ（前書き）

初めて書くので、余り自信がありませんが、
頑張りますのでどうぞよろしくお願いしますー

腹の話しあ

こんなに近くでいるのに…

どうして貴方は遠いの？

私達は、 “友達以上” には
なれない？

それでもいい。

私は、貴方のことが好き。

『江戸川君』…

私の名前は『灰原哀』…

本当の名前は『西野志保』

私には本当の名前より、『灰原哀』の方が似合ひ気がする…

だって私は名前の通り『哀しい存在』だから……

－キーン－コン－カン－コーン－

学校のチャイムが教室に鳴り響く

しばらくすると教室は

騒がしくなる

コナン『…………原！…………灰！…………原！…………』

灰原

コナンの隣の席に居る哀はほつゝとして黒板を見ていた

コナンの声は哀の耳には全く入っていなかつた

コナン『灰原一！？』

コナンの声が、教室中に響く

さつきまで、騒がしかつたクラスメートの声が一気に静まり返つたと同時に、

皆の視線は、コナンに向いた

灰原『何よ！？いきなり大きな声を出して！びっくりしたじゃない！』

コナン『ワリィ、ワリィ…何回呼んでも返事しねえから、ついつい…』

灰原『ついついつてねえ？』

本人達は皆が視線を自分達に向いていることを全く気がついていなかつた

コナン『それより、何でぼうつとしてたんだ？』

コナンは、『きになる』という顔で哀を見た

返ってきた返事は

素つ氣なかつた

灰原『別に…ただ考え方をしてただけよ』

『何だよそれ！可愛くねえなあー！』

哀はブスッとしていた

どうせ私は可愛いわよ

灰原『悪かったわね！…可愛いなくて…どうせ私は誰かさんの彼女みたいに可愛いわよ…』

「ナン（！）怖え！ つか、灰原の奴…）

『ら、蘭は彼女じゃねえーよーーただの幼なじみだつーー！』

ズキン…

ズキン…

言葉では否定しているけど、やはり蘭さんの事好きなのね…

照れ隠しちゃつ…

ズキン…ズキン…

やつぱり、蘭さんには敵わないわね…

灰原『あら～私は蘭さんだとほ一言も言つてないわよ?』

コナン『なつ／＼／＼』

灰原『天下の名探偵さんも彼女の事になると冷静さを失うのね…』

コナン『だから…彼女じゃないって言つてんだろ…』

だいたい、蘭はなあ…………本当にただの幼なじみで…………

『

ズキン…

本當は、彼女の事

好きな癖に…

素直じゃないんだから…

蘭さんが本当にあなたの彼女じゃないなら
私とずっと一緒に居てほしい
でも、消して叶わない願
い

だって、彼が好きなのは、私じゃなくて、『蘭さん』

だから
！

コナン『それでなあ？蘭の奴…って聞いてんのか？灰原！…』

ズキン…

コナン『灰原...?』

こんなに胸が苦しくなるなんて...

苦しくて胸が張り裂けそう...

腹の#貼つみ（後書き用）

“あらぬのぞこりへ..”

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0442ba/>

そばにいるのに

2011年12月31日22時45分発行